

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2004
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.86, (2004. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00860001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究

第八十六号

目次

- 1 海から山へ——日本海沿岸における二峰の山をめぐる 那波克哉
- 30 蜂妖考——『聊齋志異』異類譚札記(二) 八木章好
- 49 『慈悲道場目連報本懺法』と『仏説目連救母經』について(下) 渋谷誉一郎
-
- 98 彙報
- 136 2003年度藝文学会シンポジウム 「ヨーロッパ文学と旅」
- 108 ケンベルの旅 柴田陽弘
- 117 テオフィル・ゴーチエのスペイン旅行——「ぼくの夢のスペイン」を求めて
坂田幸子
- 125 近代フランス文学と「東方紀行」 小倉孝誠
- 136 『マンデヴィルの旅』と近代旅行記の起源 松田隆美
- 154 老舎作品のテレビドラマ化をめぐる 杉野元子
- 251 シュヴェーグラー『西洋哲学史』への森鷗外自筆書き込み——翻刻および翻訳
ヨーゼフ・フェルンケース、和泉雅人、村松真理、松村友視
- 270 『ベルリン月報』と「水曜会」——18世紀末のベルリンにおける〈啓蒙と秘密〉
斎藤太郎
- 289 ケンベルの鎖国観 柴田陽弘
- 307 ロラン・バルトの哀悼——『明るい部屋』における写真論と自伝の相互作用に
ついて 川島建太郎
- 323 エルンスト・カッシーラーの構造主義との接触について 岩崎洋介
- 340 ラスネールの『回想録』——犯罪者はいかに自己を語るか 小倉孝誠
- 355 聖なる予言者から悪魔的な魔術師へ——ロベール・ド・ボロンの三部作と
中世英語の『散文マーリン』 田口綾子
- 374 ハワイ王国のコネティカット・ヤンキー——マーク・トウェインと異文化体験
中垣恒太郎